

令和4年第2回 碧南市教育委員会定例会 会議録

1 日時 令和4年2月17日(木) 午後2時から午後2時55分まで

2 場所 碧南市役所 4階 庁議室

3 出席者

(1) 教育委員

委員 伊藤正幸、委員 高橋世利子、委員 池田香代子、委員 岡本明弘、
教育長 生田弘幸

(2) 事務局職員

教育部長 岡崎 康浩、庶務課長 堀田 葉子、学校教育課長 小澤 徹、
生涯学習課長 鈴木 勝哉、文化財課長 (美術館副館長) 松野 盛高、スポーツ課長 加藤 和彦、
水族館長 森 徹、庶務課課長補佐 亀島 有香

4 傍聴者 0人

5 議案

(1) 協議事項

ア 令和4年度学校教育の指導方針並びに学校経営の努力目標(案)について

(2) 報告事項

ア 令和3年度策定碧南市実施計画について

イ 令和4年度教育委員会各課主要事業について

ウ 令和3年度3月補正予算(案)について

(3) その他

6 会議の概要

日程第1 開会の辞

日程第2 教育長報告

教育長が資料に基づき説明した。

<意見・質疑なし>

日程第3 前回会議録の承認について

<意見・質疑なし>

事務局より会議録署名者に伊藤正幸委員と池田香代子委員を指名し、事務局案で承認された。

日程第4 議案

協議事項ア 令和4年度学校教育の指導方針並びに学校経営の努力目標（案）について
学校教育課長が資料1に基づき説明した。

<意見・質疑>

伊藤委員 令和3年度から変更になった事項はありますか。

学校教育課長 令和3年度から内容的に変わった部分はありません。昨年度の段階で、
2 学習指導の充実（6）GIGAスクール構想が昨年度から小中学校で
始まりましたので、その部分を大きく変えております。プログラミング教育も始まっておりますが、「主体的・対話的で深い学びを実現するために…」という部分が新しい学習指導要領の部分でありますので、昨年度それを基にして変更し、引き続き令和4年度も導入したタブレットを使用して学習を進めていく、ということでそのまま継続をしております。

審議の結果、承認された。

報告事項ア 令和3年度策定碧南市実施計画について
庶務課長が資料2に基づき説明した。

<意見・質疑>

池田委員 「支援の必要な児童生徒への支援の充実」というところで、事業としましてはここでは小中学校ハートフレンド派遣事業と日本語教育支援充実事業の2つが挙げられています。昨年、医療ケア児の支援法の成立があったと思うのですが、碧南市の小中学校で医療的なケアが必要な児童生徒がいるのでしょうか。またそういう方が入ってきた場合にすぐに対応ができるシステムをどう導入していかれるのか。昨年法律が成立したばかりで、どの市もそういったことを盛り込んでいるところが少ないと聞いているのですが、碧南市はそういう新しい制度をどう導入していく計画になっているのでしょうか。

学校教育課長 まず、現在医療ケアが必要な児童生徒はおりません。よって今はそういう方についていただく方を配置の予定はありません。法律ができたことを担当者は十分理解をしておりますが、現在は何も動きがない状態です。ただ

ここに載っていないのですが、学校現場にスクールアシスタントという支援員が小学校に配置されております。その中で看護師の資格を持っている方がみえることは把握しております。もし急に支援が必要になれば、そういう人材がおりますので、そこを緊急でお願いしていくという道筋は持っているという状態であるだけで、具体的な制度等はまだ整っていない状態です。

池田委員 スクールアシスタントの中にナースがいるということを含め、今回法律となったことで1行何か記載していくことを検討される予定はありませんか。

学校教育課長 法律成立にあたり、整備について他市の様子も調べました。実際看護師がついているという学校も他市にあることも確認しております。そこでの様子や制度的なものも踏まえて、今後準備はしていくというつもりではおりますが、緊急時の対応で、現在学校現場ができることは、その方がおみえになるということで何とかならないかというところが正直なところではあります。

岡本委員 小学校中学校ICT支援員を配置されているということですが、ICT支援員はどのような方で、年齢は若いのか高いのか、また「機器を活用した授業の提案をしていただく」となっておりますが、どのような提案があるのか、教えて下さい。

学校教育課長 ICT支援員は当初は4人の方がいらしたのですが、現在は3人の方で市内の小中学校を巡回していただいております。その他にもう1人統括の方がいる、という体制です。年齢は大学出たてという訳ではなく、それなりに子どもたちに接することができる、という条件で支援員の依頼をしております。ここ1年程のその方たちの活動の中で、学校現場から人物的な問題として苦情等が挙がってきたことはありません。能力についても、資格を持っている方ということで選定をさせていただいておりますので、学校の要望に応えるような形で機器の設定やトラブルの対応も速やかにやっていただいております。支援員間でも常に情報交換をさせていただいております。授業の提案ということですが、具体的に「この授業でこういうものを使うと良いですよ。」という提案ではなく、先生方が「こういう活用をし

たい。こんなアプリはないのか。」という希望について協力していただいている例があります。最近では、学校行事や授業等の配信や、学校内で中継をする際に、技術的な面で支援をしていただく機会が非常に多くなっており、この先2月3月においては、タブレット機器の年度更新の作業が中心となってまいりますので、陰で支援していただく部分が多くなってくると思います。また授業の中でも子どもたちへの技術指導やそのお手伝いをしていただいている、ということも聞いております。

伊藤委員 7ページの「スポーツに触れる機会の拡充」で、スラックライン全国実施補助事業と、スケートボード大会実施補助事業がありますが、これらは最近マスコミに取り上げられておりますし、スラックラインでは日本においても世界的な選手もみえるとのことで、碧南では是非盛んになって欲しいと思うのですが、具体的に大会が開かれる予定などあるのでしょうか。

スポーツ課長 スラックラインは全国大会を行っておりますので、その補助金としての20万円です。スケートボードも大会補助として20万円を予定しております。スケートボードはオリンピックにてメダルを取ったものですから、とても人気が出てきて、教室の数を増やしております。スラックラインは一時期CMにも取り上げられるほど人気が出て、実は世界チャンピオンが知多郡東浦町におりまして、世界でも認められている方たちがパフォーマーとして活躍しております。これらの競技は他にはない種目なので大変人気がありますので、魅力ある施設や種目を通じて、碧南を発信することが、スポーツ課が力を入れている所でございます。

審議の結果、了承された。

報告事項イ 令和4年度教育委員会各課主要事業について

各課長が資料3に基づき説明した。

〈意見・質疑なし〉

審議の結果、了承された。

報告事項ウ 令和3年度3月補正予算（案）について

関係課長が資料4に基づき説明した。

〈意見・質疑なし〉

審議の結果、了承された。

(午後 2 時 5 5 分 閉会)

以上のとおり会議録を作成して、署名する。

令和 4 年 3 月 1 8 日

委 員

委 員